

質問事項に関する回答書

(件名)磐越自動車道 龍ヶ嶽トンネル工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	5月22日	割掛対象表 参考内訳書		【仮設備工事費】 ダンプトラック運転費	「往復走行時間-約32分」とありますが、約18分の誤りではないでしょうか、御確認願います。 貸与された設計業務成果品「ア」磐越自動車道 黒森山トンネル詳細設計のREPORT0X 8-14頁によれば、坑内運搬距離H=3,672.2mとして計算した結果、「往復走行に要する時間」 $t_2=32.3\text{min}$ となっています。 一方、貴社の土木設計数量算出要領15-53頁では、坑内運搬距離をトンネル中心(インバート中心)からの距離としていることから、正しい坑内運搬距離は $H=1,836.1\text{m}(3,672.2\text{m} \div 2)$ であり、その場合の往復走行時間は17.6minとなるかと思われます。	割掛対象表参考内訳書に示すダンプトラック運転費の往復走行時間は、約18分となります。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
2	5月22日	割掛対象表 参考内訳書		【仮設備工事費】 ダンプトラック運転費	貸与された設計業務成果品のダンプトラック延運転台数の算出に誤りがありますが、貴社の土木設計数量算出要領15-97頁に準拠して見直すものと考えて良いでしょうか。 設計業務成果品「ア」磐越自動車道 黒森山トンネル詳細設計のREPORT0X 8-15頁での、ダンプトラックN台の時の運搬可能距離坑内延長の算出において、Lnの算出式が「機械掘削方式」の10分/台ではなく、「爆破掘削方式」の4分/台で計算しているため、8-16頁のダンプトラック延運転台数が2.5倍になっているように思われますので、御確認願います。	ご認識のとおりです。貴社の施工計画に基づき、必要と思われる費用を計上してください。
3	5月22日	特記仕様書	44頁	24-17	ずり処理工の区分内容に「坑外仮置き場①及び②への運搬」とありますが、これは掘削切羽から坑外仮置き場①へ運搬したずりを、鋼材及び混合廃棄物を選別した後に、坑外仮置き場①から坑外仮置き場②へ運搬することと解釈して良いでしょうか。	貴社の施工計画に基づき、必要と思われる費用を計上してください。
4	5月22日	特記仕様書	44頁	24-17	ずり処理工の区分内容について、トンネル掘削により生じたずりは、ずり選別のため必ず坑外仮置き場①を経由するため、掘削切羽から坑外仮置き場②へ直送することはないものと考えて良いでしょうか。	貴社の施工計画に基づき、必要と思われる費用を計上してください。
5	5月22日	特記仕様書	44、68頁	24-17、25	ずり処理工B1～B5の支払に「本線外盛土箇所での敷均し、締固め、整形」と記載がありますが、本線外盛土箇所での敷均しに使用する工用機械の分解組立費を計上する箇所が分かりませんのでご教示ください。	割掛対象表及び割掛対象表参考内訳書に本線外盛土場にて使用する工用機械分解組立費を追加します。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。